
なかよく、はんぶんこ

野鶴善明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

なかよく、はんぶんこ

【Zコード】

N9645I

【作者名】

野鶴善明

【あらすじ】

おさない兄弟のなかよし方程式。

なかよし度数^{II}（はんぶんこ × x 回） + （もちつもたれつ ×

y 回） + （きつねとたぬきのばかしあい × z 回）

ぼくとおにいちゃんは、いつでもなかよく、はんぶんこ。

おかあさんが、いたチヨコをかってくれたから、さっそく、はんぶんこ。

あれえ、おにいちゃん、ちゃんとわってよ。

おにいちゃんのほうが、ちょっとおおきいじゃない。

ねえ、ここところが、ななめになってるでしょ。それでね、このところが、とびでてるでしょ。そのぶん、おにいちゃんのほうが、おおきくなってるんだよ。ぼくには、ちゃあんとわかるんだからね。

そうだよ。これくらいかな。

ありがとう、おにいちゃん。

おにいちゃんて、やさしいね。

おばあちゃんがもってきてくれたドロップを、ぜんぶおさらにならべたよ。

あか、あお、きいろ、みどり、オレンジ、しろ。きれいだな。

いつものように、はんぶんこ。

おにいちゃんをしんじてないわけじゃないけど、こういうことは、ちゃんとしておかなくっちゃね。

ねえ、おにいちゃん、きいろってレモンあじでしょ。ぼく、レモンあじがすきなんだ。あんまりすきじゃないみどりをあげるから、ぼくのとかえっこしてよ。

あれえ、おにいちゃん、むっとしちゃった。どうしよう。

ねえねえ、ぼくがにばんめにすきなオレンジをあげるから、やっぱり、さんばんめにすきなあおをあげるから、おにいちゃんのきいるとかえっこしてよ。

わーい、ありがとう。

おにいちゃんて、やさしいね。

おせんべいは、おいしいね。

おにいちゃんはいしんぼうだから、すぐにぜんぶたべちゃって、ぼくのをいちまいほしいってねだるよ。

だめだよ。もうはんぶんこしたじゃない。そんな、ぼくみたいなことをしたらいけないよ。ぼくはおとうだからいいけど、おにいちゃんはだめ。だって、おにいちゃんは、おにいちゃんじゃない。ええっ、どうしてえ？ どうしてそんなことをいうの？

おにいちゃんは、よなかにおしっこしにいきたくなっても、もうついていってあげないっていうんだ。

ひどいよ。

ほんとにひどいよ。

よなかは、まっくらなんだよ。トイレへいくのは、こわいんだよ。おぼけがでたら、どうするんだよ。がまんしすぎて、おねしょをしたら、どうするんだよ。お。

なきたくなっちゃう。

ぼく、ないちゃうよ。

いちまいあげるから、ぼくがトイレへいくときはついてきてね。

おしっこがおわるまで、トイレのそばでまっついてね。

おねがいだから、ぼくをおいて、さきにおふとんへもどらないでえ？ もういちまい？

おにいちゃんはずるいなあ。しょうらい、おかねもちになれるよ。わかったよ。

もういちまいあげるから、やくそく、やぶらないでよ。

おじいちゃんが、ボンタンアメをくれたんだ。

やったあ。ボンタンアメ、だいすき。

おじいちゃん、ありがとう。

おじいちゃんも、だいすき。

おじいちゃんは、ぼくのあたまをなでなでしてくれたよ。

ボンタンアメはね、おじいちゃんからぼくへのプレゼント。だから、はんぶんこしないの。だって、ぼくのものだもん。

うわっ。おにいちゃん、おこった。

にげる！

おかあさん、たすけてえ。

おにいちゃんが、ぼくをいじめる。

ぼくは、だいどころでばんごはんをつくっているおかあさんのスカートの中へかくれたよ。

ここなら、ぜったい、だいじょうぶ。

おにいちゃんは、はいれないもん。そんなことをしたら、おかあさんに「おにいちゃんでしょ」って、しかられてしまうんだよ。

おかあさんのスカートのなかは、まほうのおしろ。おにいちゃんだって、おばけだって、ぜったい、はいれないんだ。

おにいちゃんは、めのまえで、ぼくをまちかまえてるよ。たのしいな。

なあに、おにいちゃん？

だめだめ。

おにいちゃんのしゅくだいは、はんぶんこしないの。

しゅくだいって、おにいちゃんが、いつも、いやいややってるやつでしょ。なんで、ボンタンアメははんぶんと、しゅくだいははんぶんをかえっこしなくちゃいけないんだよ。おにいちゃんが、じぶんでもやりなよ。ぼくは、こうみえてもいそがしいんだ。いろいろとね。

それ、なあに？

かんじのれんしゅうちょう？

しゅくだいじゃないの？

ほんとう？

うそだ。

ばかにしないでよ。だって、しょうがないじゃない。まだならったこと、ないんだもん。じはしょうがつこうへあがってから、なら

うんでしょ。ぼくは、まだ、ようちえんだもん。おにいちゃんには、まけたくないけどさ。

ほんとう？

ぼくにもかんじが、かけるようになるの？

おにいちゃんが、おしえてくれるの？

ぼくのなまえが、かけるようになるの？

やったあ。

おにいちゃん、ちやあんとおしえてよ。とちゅうでゲームをやったりしたらだめだよ。おにいちゃんは、あきつぽいんだから。

ボンタンアメと、かんじのれんしゅうちょうをはんぶんこ。

ちやんとかんじをかいたら、おにいちゃんのたんにのみやざわせんせい、あとでまるをつけてくれるんだって。うんとがんばったら、はなまるっていつてね、まるのまわりにおはなをかいてくれるんだって。はなまるって、どんなのかなあ？ たのしみだな。うれしいな。

ありがとう、おにいちゃん。

おにいちゃんて、やさしいね。

ぼくとおにいちゃんは、いつでもなかよく、はんぶんこ。

了

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9645i/>

なかよく、はんぶんこ

2010年10月8日15時09分発行